

北浦診療所

(宮崎県延岡市)



宮崎県13期
日高 利昭



日高 利昭

- 昭和39年宮崎市生まれの48歳
- H2年自治医科大学卒業
- 県立宮崎病院で初期研修
- 義務年限中、宮崎県の西米良村、旧東郷町、諸塚村、旧北浦町の国保医療機関に勤務
- 義務年限中、自治医科大学呼吸器内科で1年間後期研修を受け、呼吸器専門医の資格を得る
- H11年からH13年まで県立宮崎病院で一般内科・呼吸器内科医として勤務
- H13年からH21年まで古賀総合病院(宮崎市)で一般内科・呼吸器内科医として勤務
- H21年より延岡市北浦町国保診療所に勤務
- H23年に同診療所を公設民営化し地域医療を続けている

宮崎県延岡市北浦町

宮崎県北東部大分県境に位置する



宮崎市から延岡市街地まで
90km弱、車で約2時間

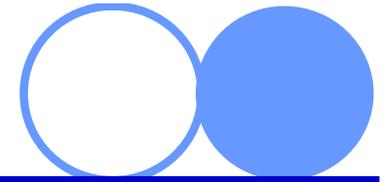
延岡市街地から北浦町(中心)まで
20km強、車で約30分

(H10年頃は車で約1時間かかっていたが、交通状況は改善している)



北浦町の高齢化状況

H24年7月1日現在



北浦町高齢化率

$1673/4053 = 32.3\%$

古江・下阿蘇地区

$432/1609 = 26.8\%$

市振地区

$305/1050 = 29.0\%$

三川内地区

$267/734 = 36.4\%$

宮野浦地区

$227/660 = 34.4\%$



町中央の古江地区は高齢化率が低いが、三川内地区は範囲も広く高齢化率も高い



北浦町の地理

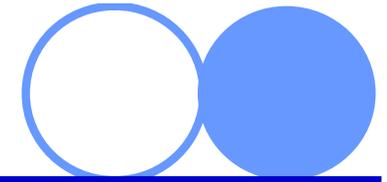
- 宮崎県の最北東部に東西8.8km、南北13.5kmのエリアにあり、4つの「大字」と13の「地区」で構成されている。
- 日向灘に面した東側には、リアス式海岸が形成されていて「日向松島」と呼ばれている。

北浦町の歴史

- 1889年5月1日- 市町村制度発足により、北浦村が発足。
- 1972年11月1日 - 単独町制施行。北浦町となる。
- 2006年2月20日 - 延岡市に編入され消滅。

北浦町の産業

- 海岸沿いは漁業が盛んで、若い働き手も多い。
- それ以外は、農業、畜産業、林業など。高齢者が多い。



- A 清流荘
- B1 下阿蘇ビーチ
- B2 道の駅「北浦」
- C 末越レジャーパーク
- B3 浜木綿村
- D 大間海岸
- E オオスリバチ珊瑚礁群
- F 観音滝
- G 日豊海岸国立公園



海が好きな人、釣りが好きな人、ダイビングをする人にはもってこいでしょう！

北浦診療所概要



- 1 名称 北浦診療所
- 2 所在地 宮崎県延岡市北浦町古江2492-1
- 3 職員 医師1名
(8月1日現在) 看護師4名 臨時看護師1名 事務職員2名
- 4 病床数 無床
- 5 診療内容 内科、外科、小児科、呼吸器内科
検査 血液検査(末梢血,CRPは院内でもOK、他は外部委託)
細菌培養等(外部委託) X線写真、腹部超音波、
上部消化管内視鏡、呼吸機能検査、など
委託で ホルター心電図、睡眠時無呼吸簡易検査 など
他 訪問診療、健診(検診)、予防接種、特老など施設往診、

現在、無床化に伴い、時間外診療は原則行っていない。ただしその代わりに延岡市急病センター当番などの手伝いをしている。自分が北浦町内にいて、患者からの要望があった場合、また、救急隊からの要請(電話番号を知らしてある)があった場合などは状況により対応している。

詳細は省くが、高齢化による高齢者夫婦の増加により、付き添いの必要な患者の入院はできなくなってきた。稼働病床は1床程度であり、赤字化してきたため、更に、延岡市までの交通も改善されてきたため、公設民営化に伴い、無床化された。

北浦診療所の歴史



- 昭和53年12月 町立北浦医院として開設 医師1名体制
- 平成5年4月 医師2名体制となる
- 平成7年4月 国民健康保険北浦診療所に名称変更
救急患者搬送車の設置
- 平成8年4月 訪問看護を開始
- 平成12年6月 療養型病床群6床を設置 診療開始
- 平成14年4月 延岡市と広域消防実施(救急搬送は延岡市より)
- 平成18年2月 延岡市との合併に伴い延岡市国民健康保険北浦診療所に名称変更
- 平成18年4月 診療報酬改定で有床診療所入院基本料1に変更
学校健診、乳幼児健診業務中止(もうひとつの開業医、市が行う)
- 平成20年4月 自治医大卒医師派遣2名が1名になる。それに伴い1名就職。
- 平成21年4月 就職医師退職のため日高医師が就職。
- 平成22年4月 自治医大卒医師派遣中止となり、日高医師1人体制となる。
- 平成23年4月 公設民営化される。

- 北浦町や延岡市、状況により宮崎県内での住民を対象とした健康講話を行っています。

写真は **女性の知っておきたい病気** について、地域の婦人会対象に行った講演のスライドの1枚です。

本日の内容

- 冷え症
- 心の病
- 子宮筋腫
- 子宮がん
- 卵巣がん
- 乳がん
- 尿失禁
- 更年期障害
- 骨粗鬆症



2012/9/25

フッター



4

- 北浦町や延岡市、状況により宮崎県内での住民を対象とした医療啓発活動を行っています。

写真は **皆で守ろう地域医療** という題で、地域住民対象に行った講演です。最近のコンビニ受診などの問題を話しました。



- 北浦町や延岡市、状況により宮崎県内での住民を対象とした医療啓発活動を行っています。

写真は **あなたの勇気が命を守る** という題で、地域住民対象に行った心肺蘇生講座です。数名から100名以上まで様々なものであります。



- 地域医療に興味を持ってもらうため、学生実習の受け入れをしています。

写真は **宮崎県医学生地域医療ガイダンス** というプログラムで、実習中の学生です。県が主催で自治医科大学の学生と、宮崎大学医学部の学生が混ざって来ます。



- 北浦町や延岡市、状況により宮崎県内での医療関係者を対象とした講演などを行っています。

写真は **COPDの基礎と臨床** という題で、地域住民対象に行った医学講座です。数名から100名以上まで様々なものであります。



- 北浦町や延岡市、状況により宮崎県内での医療関係者を対象とした講演などを行っています。

写真は 心肺蘇生法指導者養成ワークショップ でインストラクター養成中の写真です。この時はコースディレクターをさせていただきました。



- 宮崎県内を中心に **医育** という活動を始めました。
最近私が最も力を入れている活動です。

写真は **医育** について講演中の写真です。



- 医療において、医療者と患者は病気を治療するという同じ目的へ向かって、一緒に歩いていくべきなのに、どうもそれがうまくいってないことを感じた。
- その大きな原因のひとつに、一般の方の知識や理解不足などもあると考えた。
- 医療者側も大きく変わる必要があるが、医療崩壊の問題なども含め、一般向けに啓発活動をしていく必要性を感じ、始めた。



（私の考える）“医育”とは？



1. 医療の現状を理解する。
2. 上手に医療機関にかかる。
健診・予防なども含む
3. 最低限の医療知識をつける。
4. 生き方と逝き方を考える。
5. 地域コミュニティカの再生

医育の一部を紹介しましょう！

医育 1 医療の現状を理解する。

■医療の現状を知ること、医師や患者の背景を理解し、今後自分たちがどのようにすればいいかのヒントにしてもらう。

それぞれの医療の現状

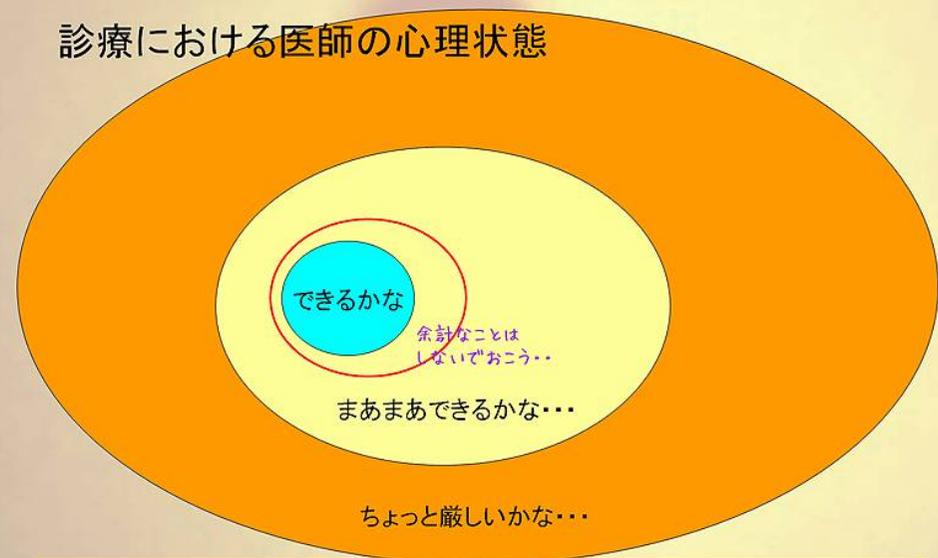
1. 医療者側の現状
2. 患者側の現状
3. 日本の医療の現状

医療者側の現状として・・・

1. 医療知識の膨大化
2. 専門の高度化・細分化
3. 新臨床研修医制度
4. 訴訟問題
5. 医療費抑制政策

医療訴訟問題

診療における医師の心理状態



医育 2 上手に医療機関にかかる。

- 多くの不信感などはコミュニケーション不足から生まれる。
患者さん側から積極的に医療者にコミュニケーションを取る方法とは？

納得する(できる)医療を受けるには・・・？

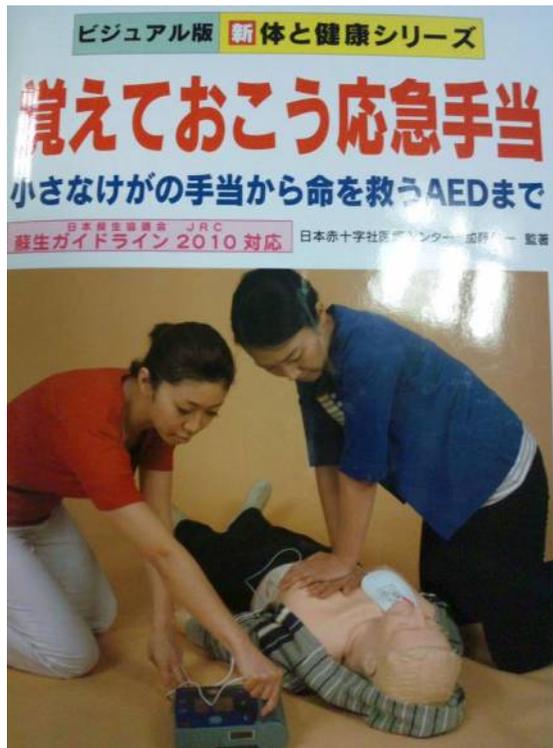
- 自分が現在受けられる医療を考える
できること できないこと
- 将来受ける医療について考える
できること できないこと
して欲しいこと 欲しくないこと
- 主治医との良好な関係が必要

お互いのこと

1. より良い人間関係を
(笑顔、挨拶、感謝など)
2. 聞きたいことをはっきりと
3. 症状などをきちんと伝えましょう
(症状、経過など)

医育 3 最低限の医療知識を身につける。

■医療知識を身につけることにより、急を要しない夜間のコンビニ受診などを抑制できる。また、逆にどういう場合が急いで治療が必要かなどを知ることによって、重症な疾患の早期発見につなげる。



医育 4 生き方と逝き方を考える。

- 自分の“死”や“逝き方”を見つめることによって、より良い（自分らしい）“生き方”を考えてもらう。



■これからの高齢化時代を考えると、今の医療福祉サービスだけでは先が見えていない。地域で地域をみるといった取り組みを、始めなければならない。今から地域のボランティアを育てる必要がある。

地域コミュニティの評価と活性化



● これからの地域は…

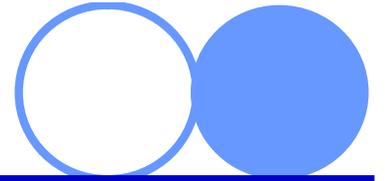
- ・ もちろん行政などの力をお借りしながらも…
- ・ なによりも、地域独自の取り組みが必要

地域住民を中心とした

自分(等)の身は自分(等)で守る!

家族が家族をみるのではなく、地域全体が地域全体をみる!





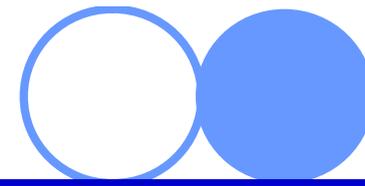
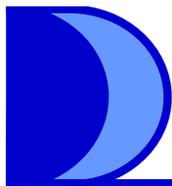
- 延岡市の”県北の地域医療を守る会”という、市民、医療関係者、行政などなど、多職種で構成された団体に属し、やはり地域住民を中心に、いろいろな啓発活動を進めています。
- 多職種との交流自体も面白いのですが、交流によって、自分の見えなかったことに気づいたり、教えていただいたり、とても勉強にもなります。

最後に・・・

- 地域の医療は、行政、住民を巻き込んで行うことのできる、やりがいのある仕事である。
- やる気があれば、いろいろな活動が可能である。
- 更に自分は、今の主な趣味は写真撮影であるが、そういったものを極めることなどもできる！
- つまりは貴方の考え方、行動力、時間の使い方でもかなりのことができるのだ！



ちなみに、この写真は、来年のソラシドエアのカレンダーに使用されることが決まっている！



- 皆さんの地域でのご活躍を、こころよりお待ちしております！

北浦診療所 日高 利昭



写真は北浦の夜明け
皆様の新しい旅立ちにかけて。